



Takumi Yumoto

湯本 琢心

慶應義塾 (神奈川) 2年

投手・右翼手/179cm78kg/右投左打

投打に抜群のセンスを誇る“二刀流”。投げたは、美しいフォームから最速140キロ台のストレートと切れ鋭いスライダーを繰り出す。打っては、柔軟なハンドリングを生かした巧みなミートで魅了する。プロの世界でも投打ともに勝負できる才能の持ち主で、高卒でのプロ入りを熱望する。圧倒的な存在感を示し、夢を叶えたい。

観戦ポイント3箇条

長所 投打でプロを狙えるハイセンス

課題 中途半端にならず突き抜きたい

夏の期待 強豪校を倒して全国区の選手に



Ryunosuke Medai

目代 龍之介

帝京 (東京都) 2年

中堅手/187cm94kg/右投右打

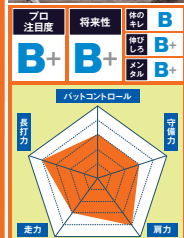
身体能力に優れた強打の外野手。日本体育大との交流戦では大学生から2打席連続本塁打を記録。広角に長打を放て、強肩、俊足に加え、ボールを最後まで見極める高い集中力も魅力だ。打球の目測を誤るなど守備に不安を抱えている。しかし、秘めたポテンシャルは屈指で、早くも来年のドラフト上位候補として期待が高まっている。

観戦ポイント3箇条

長所 強肩俊足強打と揃った高い将来性

課題 打球判断など守備には不安が

夏の期待 身体能力を頼らない確かな技術を



Shunsuke Ono

小野 舜友

横浜 (神奈川) 3年

一塁手/177cm83kg/左投左打

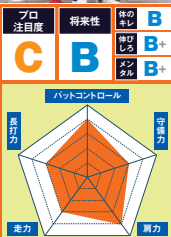
高い対応力を誇る中距離打者。広角に鋭い打球を放ち、公式戦でも安定して高打率をマークする。名門・横浜の中でも随一の打撃技術の持ち主だ。普段は一塁手だけに守備でのアピールには欠けるものの、最速140キロを投じる左腕としての資質、強肩も備えている。高度な野球に順応できるだけの確かなセンスや頭脳がある。

観戦ポイント3箇条

長所 広角に打ち返す対応力の高い打撃

課題 守備や走塁でのアピールが弱い

夏の期待 名門の中心打者としての存在感を



Kosei Hayashi

林 晃成

桐光学園 (神奈川) 3年

投手/191cm87kg/右投右打

成長著しい大型右腕。140キロ前後だった球速が、一冬を越えて150キロに乗る、という急成長を遂げた。春季県大会では横浜に敗戦したものの、ベスト4へ牽引。ストレートがものに抜ける課題はあるが、横滑りするスライダーでカウントを整えられる。大型ながら俊敏で、試合に出ていない時は大きな声で味方を鼓舞する意識の高さ。

観戦ポイント3箇条

長所 投手としてのスケールの大きさ

課題 制球力の粗さから来る不安定感

夏の期待 ライバルに勝って全国デビューを



Shoma Ikeda

池田 聖摩

横浜 (神奈川) 3年

遊撃手/176cm78kg/右投左打

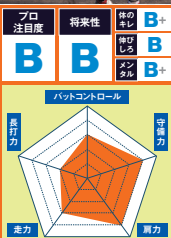
全国屈指の強肩を誇る遊撃手。その肩は、マウンドに上れば最速150キロを計測する速球派に変身する。1年夏からレギュラーを獲得し、これまで3度の甲子園を経験した。打球への1歩目が鋭く、広い守備範囲も魅力。今春のセンバツでは無安打に終わっただけに、最後の夏は聖地で打撃でも存在感を示し、高評価を掴み取りたい。

観戦ポイント3箇条

長所 深いところから刺せる強肩

課題 大舞台で打撃をアピール

夏の期待 高校No.1遊撃手として突き抜ける



Kei Kawakami

川上 慧

横浜 (神奈川) 2年

三塁手/179cm78kg/右投左打

世代をリードしている内野手。中学時代は、侍ジャパンU-15日本代表として世界を相手に活躍。高校入学後も順調に経験を積み、将来を嘱望される。最大の武器は大きなスイング軌道から生み出される長打力。名門・横浜でも上位打線を任されており、甲子園でのアピールに期待がかかる。積極果敢なプレーで来年のドラフトへ突き進め。

観戦ポイント3箇条

長所 大きなスイングから繰り出す長打

課題 攻守の精度をさらに高めたい

夏の期待 来年のドラフト候補としての活躍

